

歯学祭を終えて

第26回歯学祭実行委員長（4年） 高木 渉

前の歯学部ニューズの前稿を書いたときからすでに半年くらいたつ。ということは必然的に歯学祭が終わってからも結構な時間がたっている。今年の歯学祭はどうだったのだろうか？ まあ、いったいどうなったら成功でどうなったら失敗かの基準もよくわからないので成功したかどうかなんてことは僕にはよくわからないし語ることもできない。しかし、せつかく再びこういう場をもらえたのを機に不肖ながらわたくし「元歯学祭実行委員長 高木渉」が少し歯学祭をふりかえってみよう。

歯学祭当日以前、やはりというか何というか私は実行委員長としての責務を果たせていなかった。実行委員長としてもいろんな人にいろいろ言われ、私事でもいろんな人にいろいろ言われ…。周りのみんなはあれこれと働いているのに、自分は何をしたらいいんだろう？ と指をくわえてみていたらこうなってしまっていた。自分が悪いのはわかっているんだけど被害妄想の激しい性格が表にでて毎日学校にすら行きたくなかった。実際、学校を休んだかどうかは別の話としてもほんと毎日がいやでしようがなかった覚えがある。と、いう感じで気がつけば歯学祭前日の夜。さすがに実行委員が当日も何にもしなかったらほんとに駄目だろうなあ、と思い、とりあえず学校には一番に行こうと心に決めて就寝。

そして迎えた歯学祭、予定通り早く学校に行きました。といっても特に何かをするわけでもなくみんなが働くのやらを見回ってるくらいだったんだけど。でも歯学祭が始まってからはなんだかんだで忙しかったような気がする。というよりも、すごくきちんと歯学祭がまとまりうごいているのにただただ感心するばかりでした。一般のお客さんもたくさん来てくれてるし先生方も家族などと来てくれてたりで。ただ、学生がもうちょっと来るようになればなあとは思ったけれど。講演に来

てくれた高橋裕子先生も水野晴郎氏もおもしろくもためになる話をしてくれました。こういう人たちはやっぱり話すのがうまいなあと感心しつつ少し居眠りをしてしまったりはしましたが、ほんとにいい人たちを呼んでくれたなと係りの人に感謝。とまあ、講演会だけじゃなく学年全体がきちんと自分の仕事をこなしてそれぞれにすばらしいものを見せてくれました。「なるほど、働いてなかったのはやはり自分だけか！」と反省している間に歯学祭も無事終了。まったく不思議なもので特に何もしていないのに「一仕事終えたあ」的ないい気分になれるもんなんですね。つてことは、やることを責任をもってきちんとこなし歯学祭をうまく開催した人たちはどんなに気持ちいいのかは僕には知るすべもありませんが、きっと最高のビールが飲めたんだろうと思います。

あと、これから歯学祭を運営する人になんですが歯学祭なんて毎年あんまり変わらないし、すごくおもしろくなるわけでもないからどうでもいいやん、くらいの考えの学生は結構いると思います。たしかに自分もそう思ってたくちだし、なにか努力をしたわけでもないんですが、どうせおもしろくないからと投げ捨ててしまわないでください。自分たちに一から十までまかされるということはすごくいい経験になると思います。といい経験の機会を棒にふる元実行委員長はおもいますよ。ぜひ頑張ってください。

最後になりましたが最初に書いた歯学祭はどうだったか？ という疑問ですが、自分たちの中の話ではきっと成功といてもいいんじゃないかなと。でも、全然駄目だったよーとか思う人もいるだろうけど、それは今後の歯学祭にいかしてもっといいものにしていってください。でわ、前歯学祭運営チームとなりました4年のみなさま、本当におつかれさまでした。これからも仲良くやっていきましょう。